



スキー協通信

No.447

発行

2022. 8. 1

東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ： <http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail： info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)
00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

発行責任者

出崎福男

新型コロナウイルス感染症対策を重視しつつ活動活性化に取り組もう！！

東京スキー協第55回定期総会 3年ぶりの対面による開催



市川正幸会長挨拶

皆さんおつかれさまです。2年間のコロナの状況のなかで、3年ぶりの会場での総会になりました。それぞれクラブの中でコロナ下にあってもいろいろ工夫して、スキーの楽しみを続けていく中でいろいろ苦労されているかと思います。そんな苦労話も含めて、これからスキー協発展のために議論をよろしくお願いします。短い挨拶ですがよろしくお願ひします。



目次

東京スキー協第55回定期総会報告	1-3頁
第55期各局・委員会・各種実行委員会の体制	3頁
東京スキー協第55期行事日程(案)	4頁
全国スキー協 山スキー部会より	5頁
会議の報告/8・9月のカレンダー	6頁

第 55 回定期総会報告

《来賓挨拶》 小川 洋 全国スキー協理事長



みなさん、こんにちは。全国スキー協を代表して挨拶させていただきます。全国スキー協は6月12日に第32期の代表者会議をオンラインで開催しました。全国は29都道府県に組織があり、約2300人の会員がいます。今回代議員定数55人中37人と役員20名が参加。今回の代表者会議の特徴点がいくつかあります。

一つは今まで100人200人単位で会員が減っていましたが、今年は約45～50人の会員減で、会員減少の傾向が緩やかになってきていること。

もう一つは、神奈川や愛知のように会員を増やしている県がある。神奈川は夏にバーベキュー、若手を集めてセミナーをやったりして、このなかで会員を増やしている。愛知は山スキーの活動が活発で、ぶなの木というクラブが積極的に会員拡大をしている。北海道でも、15人増えて45人減り、30人減でも、会員拡大でそれなりの成果をだしている。

3つめは会員が増えていく中でホームページの役割が大きい。ホームページを見て入会、行事に参加したいという問い合わせなどが多い。コロナ下で家にいてネットサーフィンをする時間が増えて、スキー協のHPに目が留まり、行事に参加する流れになってきている。

そういったことで、全国的に見れば少しずつ前進しているのではないか。そのなかでも高齢化は避けて通れない。車を運転する人が減り、クラブの活動が低下して会員減になってしまう傾向があります。福島では、自分の孫にバイト代を払って車を運転してもらってスキー場に行き、行事をやるという報告もあります。長野では黒姫のスキークラブは、会員45人、大人15人、子ども30人。もともとレーシングキャンプが活発で、自分の子ども、孫世代を超えて参加している。工夫次第では会員を増やせるのではないかと思います。クラブ間交流で会員を増やす、県やブロックをまたいだ行事を開催して会員を増やすなど、枠にとどまらず行事を開催することが大事。北海道のスキー協とタイアップして北海道にみんなで行くとか、北海道の人たちを東京に呼ぶとか、魅力ある活動で会員拡大に取り組んでいただきたい。これからもよろしくお願いします。

25歳で「みなとしゅぷーる」に入り、今60歳なので約35年、スキー協のお世話になっております。これからは青森県スキー協の一員というかたちで、当面は全国の理事長は続けますが、東京からは初めて離れることになり寂しいと思っておりますが、35年間有意義で楽しい時間を送れたことに心から感謝しております。ねぶた愛好会という組織に入ってねぶたを作っています。初めて囃子に参加し、太鼓の練習もしている。42年前に、大企業中心のねぶたではなくて、市民のお金を出し合ってねぶたをするということで組織されました。今日持ってきましたが、手拭いを作って販売し、製作費の足しにしています。きれいになくしてお金を持ち帰りたいと思いますので、ぜひ、ご協力お願いします。どうもありがとうございました。

* * * * *

《メッセージ》 小林章子 新日本スポーツ連盟東京都連盟理事長

第55回の総会開催、おめでとうございます。この2年間のコロナ下でスポーツの存在の大切さを実感したと思います。さらに新日本スポーツ連盟の存在意義を考えさせられました。スポーツは権利であるとともに自己表現の場であり、多くの仲間と出会える場です。その場を提供するために私たちが出来ることを追求していきましょう。特に自然と共生するスポーツを実現するためには、環境問題にも取り組んでいく必要があります。これからはSDGsを学習して提案していくことも必要と思います。この2年間の経験を活かして、これからの方向性を活発に議論される総会となることを望みます。将来の東京スキー協議会のため、世代継承にも取り組んでください。

第55回定期総会は、6月19日(日)午後1時30分から、北区立滝野川西区民ふれあい館第1ホールにおいて、3年ぶりに対面により行われ、全ての議案が可決・承認され、新たな役員を選出して終了しました。

《出席状況》出席代議員数:22名(19クラブ)／選出代議員数24名(21クラブ)

出席役員数 :27名／役員総数32名 合計出席数 :49名／65名 出席率75%

第55期役員体制(第1回理事会において選出)

会長 市川 正幸(どさんこ・ウィークデーSC) 留任
副会長 福島 明(シーハイルSC) 留任
理事長 出崎 福男(コロポックルSC) 留任
副理事長 車田夕紀子(練馬ヒューマンSC) 留任 星野 昌弘(町田シャスネージュ) 留任
高橋 勝美(スラローム) 留任
常任理事 芦村 健一(銀嶺SC) 留任 梶並由美子(中野SNOW) 留任
斉藤 敏晴(どさんこ・ウィークデーSC) 留任 矢吹 健(銀嶺SC) 留任
小柳 光雄(モルゲンローテSC) 新任

第55期各局・委員会・各種実行委員会の体制(7/18開催の第2回理事会において決定)

《理事・常任理事の局担当》

- 教育技術局 局長:高橋勝美
常任:福島 明(副会長)
理事:中里隆太郎、間間 至、芦田 潔、上田多聞
- 組織局 局長:星野昌弘
常任:斉藤敏晴
理事:松本幸男、本多賜代、藤井一雄、蓮見玲子、海野 茂
- 総務局 局長:車田夕紀子
理事:吉田安信、北山光治、北川勝治、末広明美
- 広報局 局長:小柳光雄
常任:芦村憲一、矢吹 健、出崎福男
理事:高橋豊明、長谷川かよ子、平井光子
- 理事会事務局 常任:梶並由美子
理事:矢口政武

《委員会の担当》

- 山スキー委員会 理事:吉田安信、矢口政武、
長部保雄(非理事)、関谷正義(非理事)、島崎成利(非理事)
- 競技スキー委員会 常任:矢吹 健、高橋勝美
理事:末広明美、間間 至、長谷川かよ子
山口信子(非理事)

*ジュニア委員会、ウィークデースキー委員会は、廃止

《各種実行委員会等の担当》

- 東京競技大会 常任:出崎福男、市川正幸、矢吹 健 理事:末広明美
- 全国競技大会 常任:高橋勝美 理事:長谷川かよ子、間間 至
- テクニカルフェスタ 常任:福島 明、高橋勝美 理事:長谷川かよ子、間間 至
- 春のテクニカルフェスタ 常任:福島 明、高橋勝美 理事:間間 至
- 駅伝・BBQ 常任:市川正幸、斉藤敏晴

*上記のメンバーが中心となって、各クラブに呼びかけて実行委員会を立ち上げていく。

常任理事・理事も実行委員会メンバーとして補充する。

東京スキー協 55期行事日程 (案)		
	東京	全国・その他
7月16日(土)		ウィンタースポーツからみた気候危機を考える(Zoom開催)
7月18日(月)	第2回理事会 13:15~17:00(集会室利用)	
8月20日(土)	公認資格者登録・会員登録・会費/登録料納入締切	
8月20日(土)~21日(日)		サマーセミナー(札幌市教育文化会館)
8月23日(火)		関東ブロック技術部会(Zoomによるリモート会議)
9月3日(土)~4日(日)		全国山スキー部会
9月10日(土)	スキーセミナー 13:30~16:50 北とびあ第二研修室	
9月25日(日)		全国競技部会(Zoom会議 13:00~)
10月20日(木)	第3回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
10月頃	指導員ミーティング	
10月 日		関東ブロック初・中級スキー指導員養成理論
11月 日	山スキーのつどい	
11月 日		全国スキー協理事会
11月 日	山スキー講座	
11月26日(土)~27日(日)		全国技術部会(志賀高原)
12月3日(土)~4日(日)		中央研修会 週末コース(志賀高原)
12月4日(日)PM~5日(月)	技術部シーズンインキャンプ(志賀高原)	
12月5日(月)~6日(火)		中央研修会 平日コース(志賀高原)
12月 9日(金)	指導員研修会(応用)(志賀高原一の瀬)	
12月 9日(金)	指導員受験者レベルアップ講座(雪上)(志賀高原一の瀬)	
12月9日(金)~11日(日)	テクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
12月10日(土)~11日(日)	第1回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
12月10日(土)~11日(日)	関東ブロック初・中級指導員養成実技(志賀高原一の瀬)	
1月 ~ 日		山スキーリーダー養成・研修・レベルアップ講習
1月8日(日)~9日(月)		スノーボードフェスタ・研修会(湯の丸高原)
1月	かぐら山スキー教室	
1月21日(土)~22日(日)	舞子GS練習会(舞子リゾート)	
2月 3日(金)	第47回東京競技大会前日練習会	
2月4日(土)~5日(日)	第47回東京競技大会	
2月11日(土)~12日(日)		スノーボードクリニック(桐池高原)
2月	湯の丸山スキー教室	
2月18日(土)~19日(日)	SL練習会	
2月25日(土)~26日(日)		第49回全国競技大会(湯の丸高原)
3月4日(土)~5日(日)		スノーボードファイナル・スノーボード部指導員検定会(黒姫高原)
3月4日(土)~5日(日)	春のテクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
3月4日(土)~5日(日)	第2回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
3月	乗鞍岳山スキー教室	
3月12日(日)(予定)		関東ブロック初・中・上級指導員検定会(かたしな高原・予定)
3月18日(土)~19日(日)		第11回STC & 第20回デモ選(志賀高原)
3月23日(木)	第4回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
3月25日(土)~26日(日)	技術部シーズンファイナルキャンプ(志賀高原)	
4月1日(土)~2日(日)	志賀GS練習会(志賀高原一の瀬)	
4月8日(土)~9日(日)		全国技術部会(志賀高原)
4月12日(水)~13日(木)	平日スペシャルフリーレッスン(かぐら)	
4月15日(土)~16日(日)		セッター研修会(野沢温泉)
4月29日(土)~30日(日)	ゲート練習(志賀高原又は野沢温泉)	
5月	鳥海山山スキー教室	
5月	八甲田山スキー教室	
5月18日(木)	第5回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
5月	立山山スキー教室	
5月27日(土)		関東ブロック技術部会
5月頃	指導員ミーティング	
6月 日		全国スキー協総会
6月18日(日)	第56回定期総会	

2022年9月3日(土)～4日(日) ←

山スキー部会参加で、スキー技術 のフラッシュアップ or 山歩き ←

山スキー部会が、群馬県丸沼高原開催されます。 ←

2020～21シーズンを振り返り、来シーズンの方
針・行事について話し合います。 ←

部会参加で、「お楽しみ行事」も企画しています。 ←
万障繰り合わせご参加ください。 ←



山スキー部会開催概要 ←

- 日時：2022年9月3日(土) 午後1時～4日(日) 正午まで [部会の前後、2日～5日 お楽しみコースを用意しております。] ←
- 会場：群馬県丸沼高原丸沼スキー場「シャレー丸沼 会議室」 ←
- 宿舎：シャレー丸沼(一泊2日) ←
〒378-0414 群馬県利根郡片品村東小川4658-58 / Tel 0278-58-4300 FAX0278-58-3646 ←
- 議事(主な議題・案) ←
 - 1) 2021～22諸行事の取り組み ←
 - 2) 2022～23諸行事の取り組み ←
 - 3) 今後の体制 ←
 - 4) その他 ←

お楽しみ会【プラスノースキーと山歩き】 ←

部会の合間を縫って、全国山スキー部交流会、お楽しみ行事開催(主催：群馬スキー協) ←

日程：(天候によりコースの変更が有ります) ←

9月2日(金) 9時00分～ ●白根山弥陀ヶ池登山(ロープウェイ利用)、●プラスノースキー講習 ←

9月3日(土) 9時00分～11時30分、●丸沼・菅沼めぐり、●プラスノースキー講習 ←

9月4日(日) 12時～15時30分 ●頂上駅自然散策(ロープウェイ利用)、●プラスノースキー講習 ←

9月5日(月) 8時～15時 ●尾瀬ヶ原ハイキング、●プラスノースキー講習 ←

プラスノース講師：荻原正治氏：プラスノーススキー講習(スキー教程のポイントである初歩の平行ターンⅡをベースに行います) ←

登山ガイド：福田洋吾氏(日光白根山(ロープウェイを使って白根山弥陀ヶ池を目指します)) ←
：皆川貞盈氏(丸沼・菅沼めぐり・頂上駅自然散策・尾瀬ヶ原ハイキング) ←

宿泊料金： ←

1泊2食付 11,500円(入場税別途150円)、(金・日曜日は1000円引き) ←

【登山パック(13,000円、内訳1泊2食付、ロープウェイ往復券、おにぎり弁当、下山入浴) ←

お楽しみ行事参加費・内訳 ←

プラスノース・リフト代2300円(1日)・4600円(2日)、講習料(半日500円) ←

登山・沼めぐり ガイド料(半日500円) ←

申込み・他： ←

参加を希望される方は、山スキー委員会へお問い合わせください。案内をお送りします。 ←

(山スキーリーダーの部会参加は理論研修扱いになります) ←



会議の報告

第55期 第2回理事会 2022.7.18 (月)

◆第2回理事会 杉並区永福和泉区民センター
13:15~16:00 (出席者16人/28人中)

<主な内容>

はじめに ー理事長あいさつー

総会から約1カ月、新型コロナの感染の再拡大が進んでいる。夏の企画を計画しているクラブは基本的な対策をとって進めてほしい。6月の総会で55期の方針を確定してきた。スノースポーツの魅力、クラブの魅力を語ってクラブの会員を増やしていきましょう。スポーツは平和であってこそです。

(1) 第55回定期総会の総括

- ① 出崎理事長からレジメに沿って説明
- ② 理事からの感想など

(2) 理事の役割と理事の任務について

- ① 理事長から理事会の役割について説明
- ② 理事のみなさんへのお願い

・理事は、クラブと東京スキー協をつなぐパイプ役であり、各局に所属するなどして、東京スキー協の目的と方針の実践にあたるという大きく分けると理事の役割は2つある。

・各理事に東京スキー協の行事や活動への

参加、並びにクラブの組織強化に取り組むことをお願いしたい。各理事には、その先頭に立って頂きたい。

③ 各理事の役割分担(担当局・委員会の担当・各種実行委員会等の担当者)の提案を全員で確認。(本紙3ページ参照)

・ 駅伝・BBQは開催できるかからスタートとなる

④ 方針の具体化は、この後行う各局の打合せで具体化する

⑤ 全国スキー協 第32期4部員を再度全員で確認

(3) 今期の理事会日程を全員で確認

(4) 第47回東京スキー競技大会実行委員会について、実行委員会で内容を詰めていくが、理事のみなさんにも実行委員会への積極的参画をお願いしたい。第1回実行委員会は8月上旬開催を目指す(10月半ばには要項ができていくことがMUST)。このあとの休憩時に関係者で調整して日程を確定する。

(5) 第55期東京スキー協技術部員の募集について高橋教育技術局長から説明

(6) その他

- ① スノーボードの指導員について
- ② スキーセミナーについて
- ③ Zoomの利用について

(7) 各局に分かれての打合せを行う

8・9月のカレンダー

8月	行事名	9月	行事名
2(火)	常任理事会	6(火)	常任理事会
		10(土)	スキーセミナー2022
17(水)	広報局会議	14(水)	広報局会議
23(火)	関東ブロック技術部会		
29(月)	2022 テクニカルフェスタ実行委員会		
30-31(土・日)	Summer Seminar in Hokkaido	28(水)	教育技術局会議

編集後記 エビノシッポ

クラブで登山・ハイキング担当をしている。奥武蔵、奥多摩、中央線や富士急沿線などの日帰りで行ける山を探して計画しているが、適当な対象が少なくなってきた。そのためバス便が少なかったり、アプローチの長い時はタクシーを利用し、参加者が多い時は早めにジャンボタクシーを予約するようにしている。もう一つ行っているのは、ヤマレコなどのデータチェックだ。労山機関紙「登山時報」に掲載される事故事例を見ると、シニアの転倒や体勢を崩しての捻挫・骨折事故などが多い。自分も含めシニアに属する当会メンバーにとって他人事ではない。事前のコース選定などを十分に行い、楽しい山行になるよう心掛けている。(T.T)